

2024年1月31日

各位

株式会社富山第一銀行

株式会社望みグループホールディングスとの
「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結

当行は、株式会社望みグループホールディングス（代表取締役 倉坪 茂親）を評価対象とした「ファースト・ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

本サービスを通じて、取引先の企業活動における環境・社会・経済の3つの側面に対して、インパクトを包括的に特定・分析し、ポジティブインパクトが期待できる活動と、ネガティブインパクトを低減する活動を支援いたします。

今後も、お客さまに「寄り添う」銀行として、持続可能な社会の実現に向けた企業活動を通じたSDGsの達成に寄与することで、さらなる信認につなげます。

記

1. 商品概要

本商品は、企業活動が経済・環境・社会に与えるポジティブ並びにネガティブな影響をポジティブインパクト金融原則に基づき特定し、ポジティブインパクト（プラスの影響）を拡大、ネガティブインパクト（マイナスの影響）を緩和することでSDGs達成を目指すファイナンスの取組です。当行は、インパクトに対する企業活動の影響・取組を包括的に分析・評価を行います。これらのインパクトに対するKPI（重要業績評価指標）についてお客さまとともに設定し、達成状況や取組状況について、定期的にモニタリングし、達成に向けて支援を行ってまいります。客観性を保つため当行が実施した評価について株式会社格付投資情報センターより第三者意見を取得しています。

2. 融資概要

契約締結日	2024年1月31日
借入人	株式会社古川製材
融資金額	50百万円
資金使途	運転資金
モニタリング期間	5年

※株式会社格付投資情報センター（R&I）のセカンドオピニオンは、下記URLをご参照ください。
<https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html>

3. 評価企業概要 株式会社望みグループホールディングス

代表者	代表取締役 倉坪 茂親
本社所在地	岐阜県飛騨市古川町金森町8番1号
事業内容	住宅建築・住宅リフォーム・不動産事業 他
設立年月日	2021年2月

NEWS RELEASE

4. SDGs 達成に向けた取組事例（詳細は評価書をご参照ください）

取組内容	当社グループの事業活動を通じた地域経済・社会への貢献
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大 ・ 経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「住居」「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	  
対応方針	・ 岐阜市を中心とする岐阜エリアでの施工実績積み上げ ・ 愛知県、三重県、静岡県（東海エリア）での施工実績積み上げ ・ 独自の技術として、柱や梁を接合して耐震性を高める「SE 構法」や断熱性能の高い「全館冷暖房」の推進
KPI	岐阜エリアにおける、2024～2028 年度の 5 年間で「SE 構法」「全館冷暖房」導入住宅着工累計件数を 100 棟とする。 （年間平均 20 棟：2022 年度岐阜県全域における着工件数実績 10 棟）



株式会社望みグループホールディングス
代表取締役 倉坪 茂親 氏

株式会社富山第一銀行
高山支店長 早川 高志

【本件に関する問い合わせ先】

法人事業部：大浦
TEL 076-461-3871

ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書

評価対象企業：株式会社 望みグループホールディングス



2024年1月31日

株式会社 富山第一銀行

1. はじめに.	2
2. 企業概要.	3
(1) 企業概要	
(2) グループ構成	
(3) 企業理念	
(4) グループ沿革	
(5) セグメント構成	
(6) バリューチェーン	
3. 事業概要.	8
(1) 注文住宅部門	
(2) 住宅リフォーム部門	
4. 性能	15
(1) SE 構法	
(2) 全館冷暖房	
5. 職場環境	21
6. 成長戦略	22
7. SDGs の取組	25
8. インパクトの特定.	26
(1) インパクトレーダーによるマッピング	
(2) インパクトカテゴリーに対する SDGs ゴール	
(3) 日本におけるインパクトニーズの確認	
(4) 岐阜県の SDGs 未来都市計画の確認	
(5) インパクトの特定	
(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認	
9. KPI の設定.	32
10. 管理体制とモニタリング	36

1. はじめに

富山第一銀行は、株式会社望みグループホールディングスに対してポジティブ・インパクトファイナンスを実施するにあたって、同社の企業活動が、環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブな影響及びネガティブな影響）を分析・評価した。

資金調達は、株式会社望みグループホールディングスの住宅事業における中核子会社である株式会社古川製材で行う。株式会社望みグループホールディングスは、連結対象となる子会社にて、顧客の需要に幅広く対応するためのブランディング戦略に基づいた住宅建築事業、不動産事業、民泊事業、雑貨販売事業を展開するグループを形成。これらのグループ各社は事業戦略上、各々が密接に連携して事業展開を行っている。このため、インパクト分析の評価にあたっては、グループ全体を対象として行った。

分析・評価にあたっては、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」および ESG 金融ハイレベル・パネル設置要領第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的な考え方」に則った上で、株式会社望みグループホールディングスの企業活動における包括的なインパクトを分析した。

富山第一銀行は、本評価書で特定されたポジティブ・インパクトの拡大とネガティブ・インパクトの緩和に向けた取組を支援するため、株式会社望みグループホールディングスに対し、ポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行する。

資金調達者の名称	株式会社古川製材 (株式会社望みグループホールディングスの中核子会社)
調達形態	証書貸付
契約期間（モニタリング期間）	2024 年 1 月 31 日～5 年間
金額	50 百万円
資金用途	経常運転資金

2. 企業概要

(1) 企業概要

社名	株式会社 望みグループホールディングス
代表者	代表取締役 CEO 倉坪 茂親
本社	岐阜県飛騨市古川町金森町 8 番 1 号
営業所	NOZOMIHOME 高山本店・ショールーム NOZOMIHOME 岐阜支店・ショールーム 名古屋オフィス 4u DESIGN HOUSE・ショールーム リラクス・ショールーム さくらの家・ショールーム 平屋専門店・ショールーム
設立年月	2021 年 2 月
事業内容	グループ関連子会社の運営
グループ事業内容	住宅建築、住宅リフォーム（増改築）のトータル提案事業 不動産事業 家具・雑貨のトータルコーディネート及び販売事業 他
資本金	30 百万円
売上高	3,200 百万円（グループ連結）
従業員数	93 名（グループ全体）
有資格者	一級建築士、二級建築士、宅建士、 一級建築施工管理技士、二級建築施工管理技士、 ライティングコーディネーター、ファイナンシャルプランナー、 相続診断士、整理収納アドバイザー、風水アドバイザー、 カラーコーディネーター、インテリアコーディネーター、 住宅収納スペシャリスト、福祉住環境コーディネーター 他

(2) グループ構成

株式会社望みグループホールディングスを親会社とし、主要子会社4社を中心にグループを形成。2023年11月には、地域の暮らしに重要な要素であるエンタメを創出することを目的とした、5社目の子会社である(株)絆を新設。事業範囲の更なる多角化を計画している。

それぞれのグループ会社で、住宅建築・リフォーム事業、不動産事業、民泊事業、雑貨販売事業等の展開を10種類以上に分かれるブランドで行っている。



(3) 企業理念

「笑顔と涙と感動」をクリエイトする会社 ～Be Dreamers～



経営理念	わが社は社員の物心両面の豊かさと、協力者の安心を通し、「笑顔いっぱいの暮らし」を提供することを目的とする。
ミッション	一人でも多くのお客様に、最高のスキルをもって、豊かな暮らしを提供し続けることで、社会の平和に寄与する事を使命とする。
ビジョン	誰もが知る暮らしを彩る企業として、家族の「笑顔と感動」をクリエイトする。

(4) グループ沿革

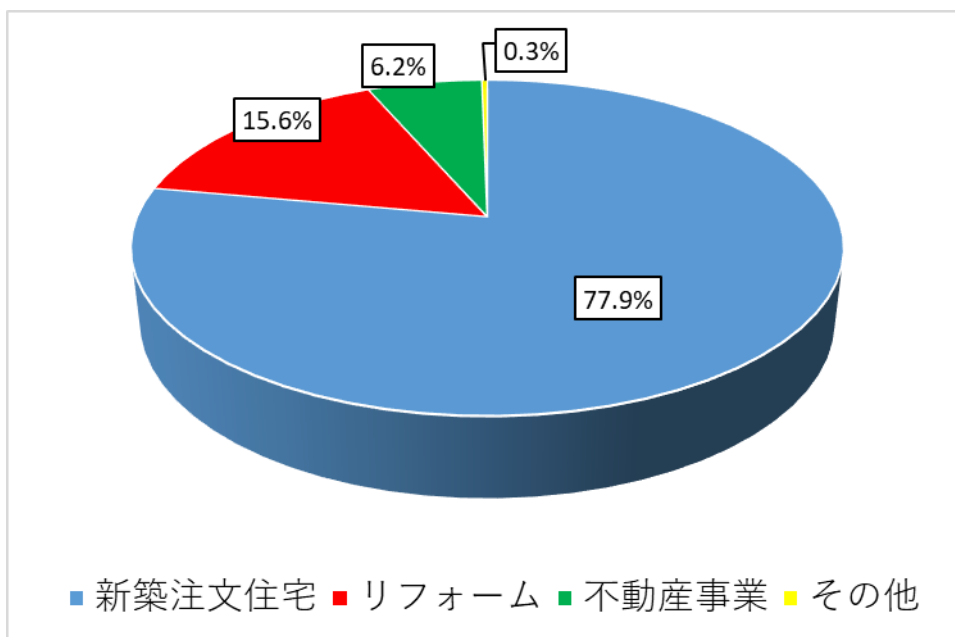
当社グループの創業は1919年。岐阜・飛騨高山で創業から100年以上長い歴史を持つ住宅建築を中核事業とする企業体。

多岐に渡るお客様の住宅建築・デザインのニーズに対応する「NOZOMIHOME」、「4u DESIGN HOUSE」、「さくらの家」や、リノベーションを主体としたリフォーム提供に向けた「リラックス」、住まいに関する生活サポートを行う「ひだもりサービス」等、提供サービスに併せた商品をブランド化する戦略の基、着実な成長を遂げてきている。

1919年	創業（モ）倉坪製材所 設立
1950年	古川製材企業組合 設立 製材業に加えて、総合建築分野へも事業展開
1970年	倉坪茂登雄一級建築事務所 開設（岐阜県知事登録第6000号）
2007年	次世代木造住宅専門事業部「望ほーむ」設立
2010年	飛騨市古川町に本社移転 新社屋完成・モデルルーム開設 古川製材(株)に社名変更 「望ホーム」を「NOZOMI HOME」に改名 (株)LIXIL 主催の全国デザイン賞準優勝「準 TH 大賞」受賞
2014年	4u DESIGN STUDIO 事業部 設立 Nozomi Design Office 一級建築士事務所 設立 ひだもりサービス事業部 設立
2016年	高山市にショールーム出店 nozomi RE home 事業部 設立
2018年	「さくらの家」事業部 設立
2019年	創業100周年 
2021年	NOZOMI GROUP HOLDINGS 設立 NOZOMIHOME 岐阜店 開設 4u DESIGN HOUSE 高山ショールーム 開設 リラックス 高山ショールーム 開設

(5) セグメント構成

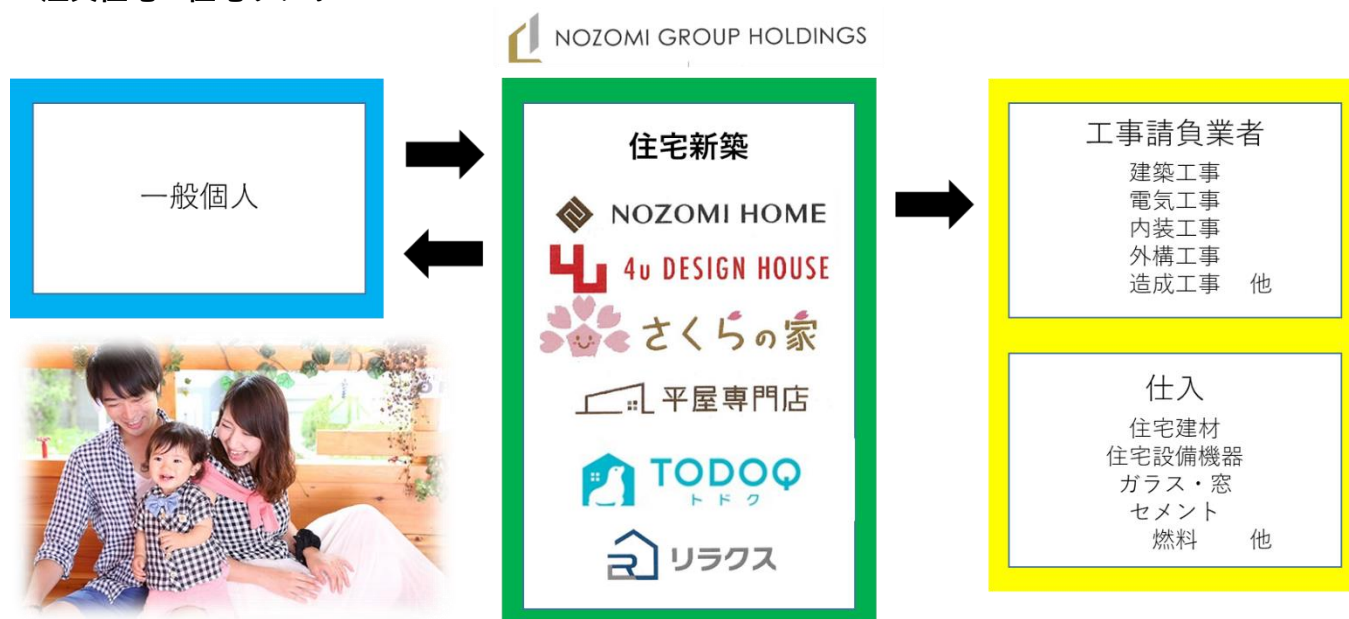
当社事業セグメントは、注文住宅事業を中心とした住宅事業が 77.9%と売上構成の大半を占める。



セグメント種類	細目	割合
住宅	新築注文住宅・建売住宅	77.9%
リフォーム	住宅リフォーム	15.6%
不動産	住宅用不動産仲介	6.2%
その他	生活サポート、雑貨販売 等	0.3%

(6) バリューチェーン

注文住宅・住宅リフォーム



3. 事業概要

(1) 注文住宅部門

当社グループは飛騨高山で創業から100年超と、地場にて永年事業展開しているメリットを活かした知識と経験に裏付けされた技術があり、地域からの信頼に繋がっていることから、地域No1の施工実績を誇る。

多種多様な顧客ニーズに併せた注文住宅のブランドを持ち、安心できる機能性・高品質な住宅の提供を行っている。

➤ NOZOMIHOME

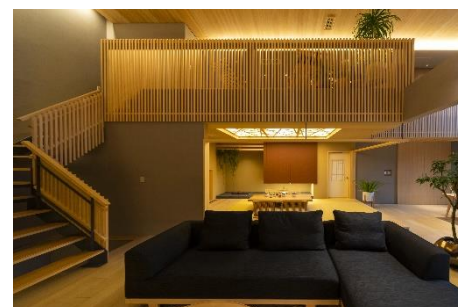
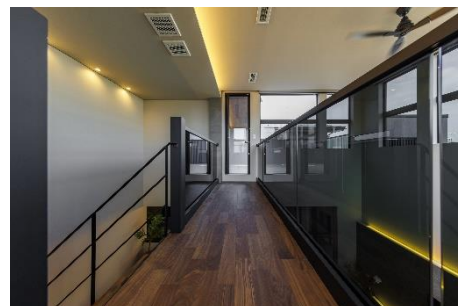
「機能性のあるデザイン」というコンセプトのもと家づくりを行い、収納力や光の取入れ方、照明といった経年劣化のない住宅の提供を行っている。

居住空間に、機能性あるデザインを提供することにより、毎日を健康で快適に過ごすと共に心の開放感と癒しを生み出すことを実現。

商品ラインナップを『GRASTA』『リゾートできる家』『雅』『Dalla Casa』と4つに分けて、様々なコンセプトでの対応を可能としている。

【GRASTA】

家族の絆が自然と深まり、至福の時間が流れる「現代の邸宅」をコンセプトとしており、「風格を漂わせる至福の空間」、邸宅と呼ぶにふさわしい堂々とした安定感のあるフォルムは、和風モダンの様式を採用したNOZOMIHOMEの最上級デザイン。



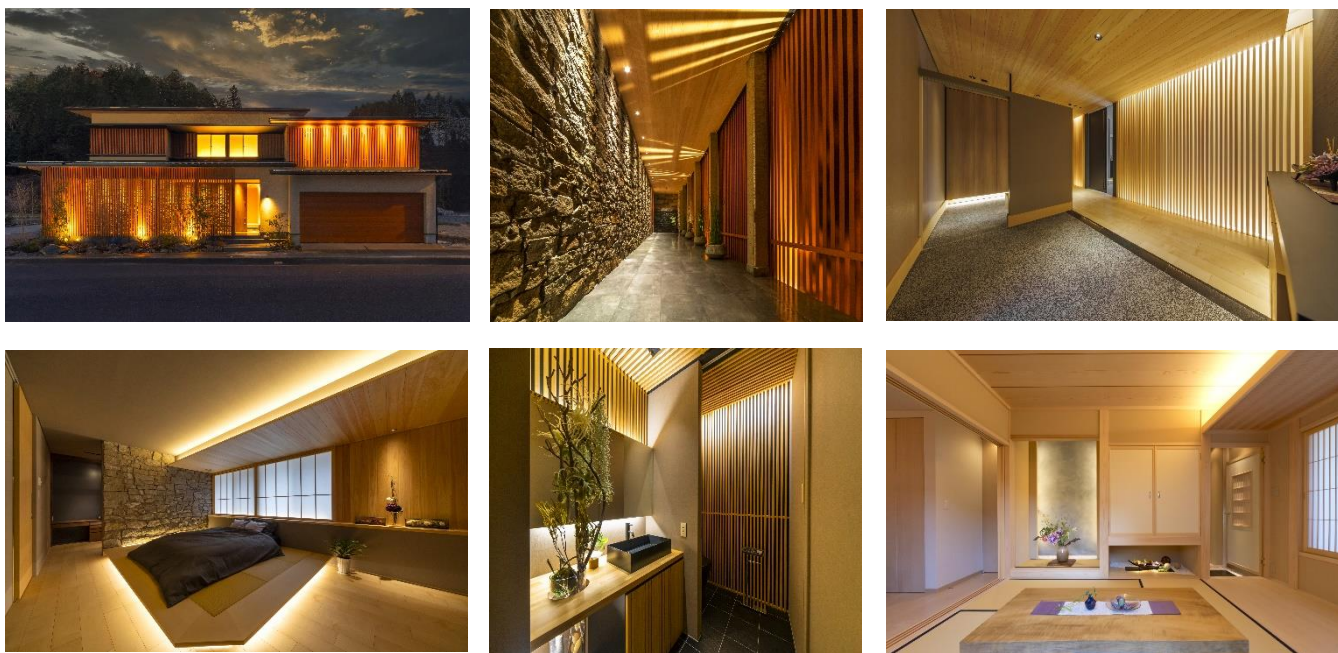
【リゾートできる家】

世界の高級リゾートハウスをコンセプトとした、居住者の心をゆっくりと静かに解放させ、あくせくした日常生活を癒し・忘れさせ、特別なものに変える、いつか訪れたリゾート地を感じさせる贅沢な空間を提案。



【雅】

世界で認められる日本のおもてなしの心、「和」のうつくしさをコンセプトに、日本人が古来より大切にしてきた心、伝統と現代美の融合を表現した五感に作用する和空間を提案。



【Della Casa (デッラカーサ)】

イタリアンモダンスタイルをコンセプトとした、NOZOMIHOME でしか取り扱えない海外から取り寄せた造作家具を使ったワンランク上の日常を実現させたデザインを提案。



<NOZOMIHOME の受賞履歴>

NOZOMIHOME の家は、LIXIL が地域工務店支援を目的として推奨する「TH 友の会」会員工務店を対象に、毎年開催される住宅施工例コンテスト (TH 大賞：現 LIXIL メンバーズコンテスト) で9年連続全国賞を受賞。本コンテストは毎年度 1,000 を超える応募数の中から「TH 大賞」「準 TH 大賞」「審査員奨励賞」等 31 作品のみが優秀作品として表彰されることから、NOZOMIHOME の設計力・施工力の高さが業者間でも評価されていることがわかる。

その他にも、(株)NAC 主催のベストハウス・オブ・ザ・イヤー「エリア No 1 大賞」において全国最優秀賞である「お客様満足度最優秀賞」受賞や、HomeResearch 工務店グランプリにおいて全国賞を受賞するなど、お客様を満足させる家づくりを実現していることも評価されている。

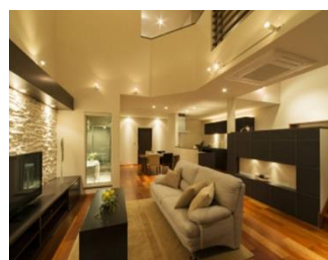
〔TH 大賞初受賞時〕



〔準 TH 大賞〕



〔中部地区 地域優秀賞〕



〔お客様満足度 最優秀賞〕

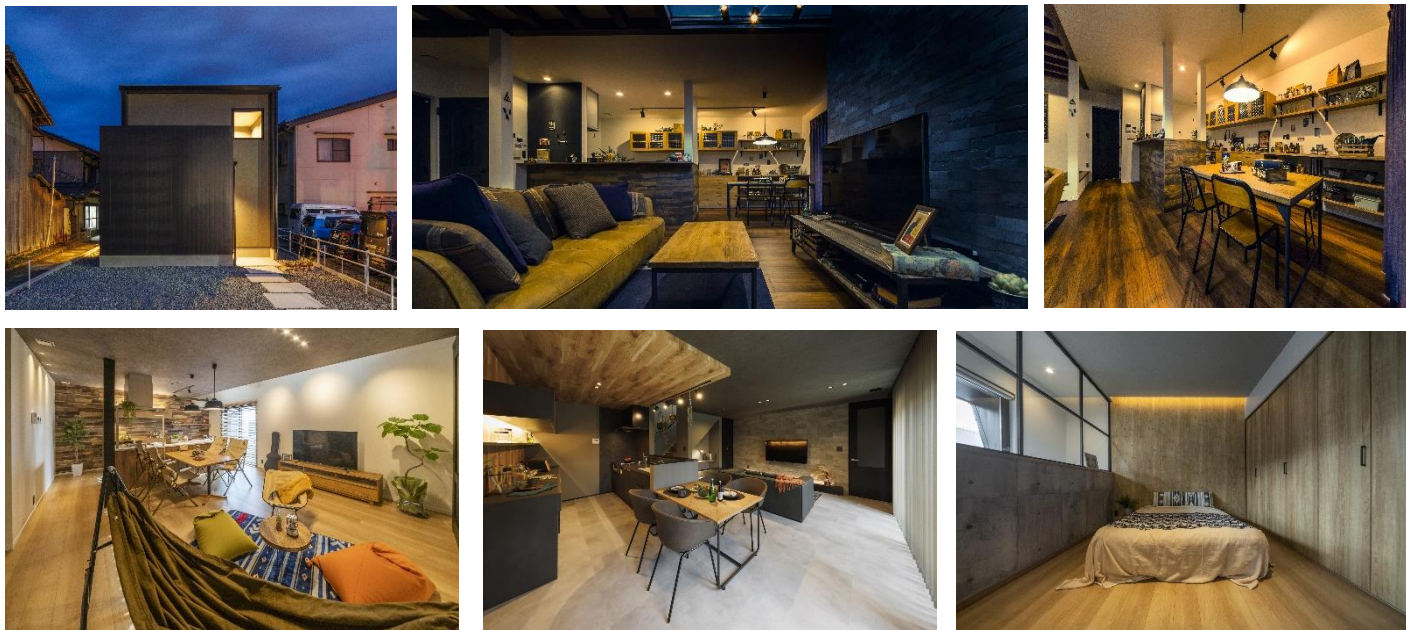


〔受賞歴一覧〕

2011年	(株)LIXIL 主催「第21回トータルハウジング大賞」全国準優勝「準TH大賞」受賞
2012年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2012」「敢闘賞」受賞 (株)NAC 主催「ベストハウス・オブザヤー」「デザイン部門 金賞」受賞
2013年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2013」「中部地区 地域優秀賞」受賞 (株)NAC 主催「エリア No.1 大賞」全国最優秀賞 「お客様満足度 最優秀賞」受賞 (株)NAC 主催「ベストハウス・オブザヤー」「二世帯住宅部門 金賞」受賞
2014年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2014」「中部地区 地域優秀賞」受賞
2015年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2015」「全国 ディティール賞」受賞 (株)船総合研究所主催「グレートカンパニーサミット2015」「MVP」受賞 (株)ホームリサーチ主「催第四回工務店グランプリ」「全国23/1354社」「岐阜県4位」
2016年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2016」「最優秀賞」受賞 注文住宅販売総合部門 「飛騨商圏」第一位、注文住宅販売総合部門「飛騨市・高山市」第一位 (株)船総合研究所主催「北欧モダン住宅フォトコンテスト」「MVP」受賞 注文住宅販売総合部門 「飛騨商圏」第一位、注文住宅販売総合部門「飛騨市・高山市」第一位
2017年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2017」「地域特別賞」受賞 (株)船総合研究所主催第「2回北欧モダン住宅フォトコンテスト」優勝 注文住宅販売総合部門 「飛騨商圏」第一位、注文住宅販売総合部門「飛騨市・高山市」第一位
2018年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2018」「敢闘賞」受賞 (株)船井総研「2018年度定額制デザイン住宅ビジネス分科会」「MVP」受賞 第12回キッズデザイン賞「子どもたちを産み育てやすいデザイン部門」「はぐはぐセミナー」受賞 第12回キッズデザイン賞「子どもたちを産み育てやすいデザイン部門」「三世代リビング」受賞 ウッドデザイン賞2018「ソーシャルデザイン部門」「壁面格子棚」受賞 注文住宅販売総合部門 「飛騨商圏」第一位、注文住宅販売総合部門「飛騨市・高山市」第一位
2019年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2019」「最優秀賞」受賞 グッドデザイン賞2019受賞 注文住宅販売総合部門 「飛騨商圏」第一位、注文住宅販売総合部門「飛騨市・高山市」第一位 (株)船総合研究所主催「定額制デザイン住宅フォトコンテスト」「MVP」受賞
2020年	参加ナシ（コロナの為）
2021年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2021」「敢闘賞」受賞 (株)船井総研「2021年度定額制デザイン住宅研究会」「MVP」受賞 (株)船井総研「増改築ビジネス研究会 AWARD2021」「AWARD大賞」受賞 「最高受注額大賞」1位「勉強会誘客大賞」1位 「リノベ受注額トップセールス大賞」1位（山崎英治 2億1026万円） 「商圏内完工シェア大賞」1位 14.39%、「商圏内受注シェア大賞」1位 22.25% (株)船井総研グレートカンパニーアワード 「成長企業大賞」ノミネート
2022年	(株)LIXIL 主催「LIXIL メンバーズコンテスト2021」「敢闘賞」受賞 (株)船井総研「2022年度グレートビルダー経営者研究会」「成長企業大賞」受賞 (株)船井総研「増改築ビジネス研究会」「最高受注額大賞」1位、「勉強会誘客大賞」1位 「リノベ受注額トップセールス大賞」1位（山崎英治 2億9018万円） 「リノベ受注額トップセールス大賞」2位（少名子淑子 2億1835万円）
2023年	(株)船井総研グレートカンパニーアワード 「成長企業大賞」ノミネート

➤ 4u DESIGN HOUSE

コンセプトとして、デザイン性に重きを置いた注文住宅ブランドで、住まわれる方の「好き」に囲まれる“カッコいい暮らし”を提供している。
当該ブランドにおいても、単なる「おしゃれ」なデザインではなく、機能性のあるデザインにこだわり、経年劣化の無い住宅の提供を行っている。



➤ さくらの家

“ローコスト”と“高品質”にこだわった注文住宅ブランドで、地域密着のハウスメーカーとして、価格にこだわりながら、地震に強く耐久性に優れた家づくりを行い、地域の“安心した暮らし”の提供を実現している。



➤ 平屋専門店

平屋住宅の設計・施工を専門とする住宅ブランド。
バリアフリーで暮らしやすく、地震に強く、広々とした空間で暮らせる自由度の高い間取りで高品質を実現した住宅の提供を行っている。



(2) 住宅リフォーム部門

➤ リラクス

住宅のリノベーション&リフォーム専門ブランドで、居住者のライフスタイルや予算に合わせた、最適な提案を行っており、「新築以上の感動を」をコンセプトにフルリノベーションから耐震補強・断熱改修等幅広いリフォーム需要に対応している。

【Before】



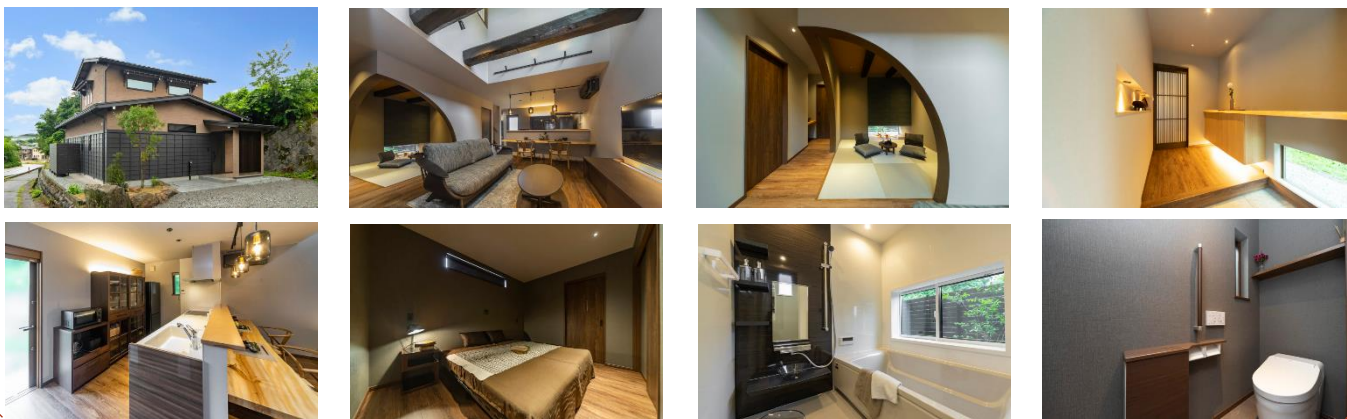
【After】



【Before】



【After】



▶ ひだもりサービス

高齢化率が30%超の飛騨地区を中心に、シニアの方々の「ちょっとしたお困りごと」を解決する生活サポート事業。地域に密着したサービスの提供により、地域の“暮らし”を応援している。

また「ひだもりサービス」はリフォーム工事のアフターフォロー事業とも位置付けられ、お客様の住宅メンテナンスに対応できることから、顧客満足度の向上に繋がっている。



ひだもり

飛騨市・高山市・下呂市の
リフォーム専門店

【サービス一覧】 ※一部抜粋

水まわり	水道パッキン交換	排水のつまり解消	レンジフード交換	蛇口交換	ハンドル交換
	呂戸棚の取付	換気扇の交換	シャワーヘッド交換	風呂栓の交換	風呂コーキング打替え
	タイル補修	トイレタンク点検修理	トイレの部品交換	タオル掛け取付	ウォシュレット取付
	浴槽への暖房設置	浴槽の鏡交換	浴室折戸の交換	洗面台取り替え	洗面台の水漏れ修理
電気	電球の交換	コンセントカバー交換	コンセント増設	LED電球の交換	エアコンの移設
	ブレーカー点検	エアコンガス補充	IH交換	エアコンクリーニング	
内装	クロス貼り替え	障子紙貼り替え	フローリング貼り替え	ふすま貼り替え	ドアノブの交換
	畳の交換	畳の表替え	屋内手すり設置	玄関手すり設置	段差解消
	階段のすべり止め	カーテンレールの設置	二重窓の設置	床下収納の設置	折戸交換
外まわり	網戸の張り替え	コーキングの打替え	外壁の塗り替え	雨樋交換	壁の高圧洗浄
	玄関雨戸の取付け	外壁のヒビ割れ補修	瓦の修理	ポスト交換	フェンスの補修
	ベランダ防水	人感センサー照明取付	ピッキング防止鍵交換	防犯カメラ取付	ガレージ砂利敷設
	アスファルト土間工事	コンクリート土間工事	屋外物置設置	玄関ドア交換	インターホン交換
清掃	水まわりクリーニング	レンジクリーニング	キッチンクリーニング	お風呂クリーニング	窓のクリーニング
	雨樋清掃	エアコンクリーニング	網戸クリーニング		
代行	草むしり	草刈り	マイマイガ駆除	人形供養	お墓参り
	お墓掃除				



4. 性能

(1) SE 構法

住宅には快適性や省エネ性・デザイン性に加えて、居住者のライフスタイルや趣味・コミュニティに合わせた要望があり、優先順位も様々である。

当社グループにおいても「冬は暖かく、夏は涼しい家」や「一人一人のスタイルにフィットする家」を提供することはもちろんであるが、大前提として大切な家族が安心安全に住み続けられる住宅の提供に注力している。

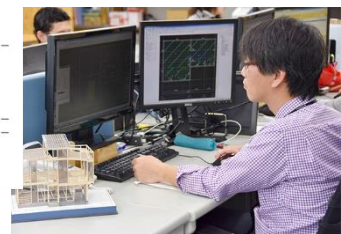
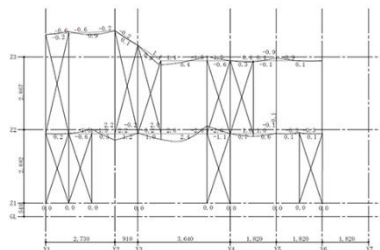
当社グループにおいては、安心安全な住まい環境の実現のため、高山地域で全棟耐震構法である SE 構法採用住宅の施工累計実績で 1 位を守り続けている。

耐震性・安心安全
強くしなやかに、

施工品質・保証体制・メンテナンス
そこに在り続けること

SE 構法とは柱や梁そのものを互いに剛接合し、強固な構造躯体をつくり上げ、従来、鉄骨造や RC 造において主流だったラーメン構法を、日本の木造住宅に取り入れた構法。

SE 構法は許容応力度計算（※1）による構造計算を行っている。具体的には、建物の鉛直荷重、風荷重、地震荷重の 3 点について綿密な検討を行い、建物各部を立体的に応力解析。解析結果を基に、建物の各構造部材や耐力壁・柱・梁の接合部が安全であること、さらに強風や地震時の傾斜角・耐力壁の偏り・上下階の強さのバランス・大地震時の安全性を確認している。このような、鉄骨造や RC 造と同様の「立体解析による構造計算」を全棟で実施していることが SE 構法の大きな特徴である。



※1：許容応力度計算（構造計算）

日本は世界一の地震大国で、繰り返しの大地震に耐え抜く構造躯体が求められる。

構造計算は建物構造物・土木構造物などが、固定荷重や積載荷重・積雪荷重・風荷重・地震荷重などに対して、構造物がどのような応力が発生するかを計算し、構造物がそのような変形や応力に耐えられるかの判定すること。構造物の安全性や使用性を確認することを目的としている。

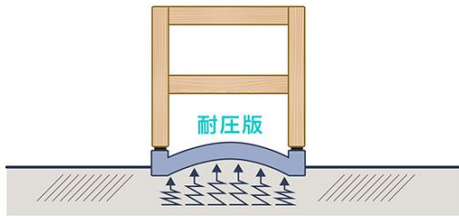
しかしながら日本で建てられる木造住宅は建築基準法という法律の中で、構造計算が免除（500㎡以下、木造 2 階建て以下の建物）されており、約 80% の家が構造計算をされていないとも言われており、本当に“地震に強い”家なのかの分析・検証が行われていないことに繋がっている。

住宅規模の構造計算には 3 つのグレードがあり、許容応力度計算は最も安全性が高い手法とされている。



SE 構法においては、基礎についても構造計算を実施。FEM 解析と呼ばれる数値解析手法により、建物に伝わる力を解析することで、地盤強度に応じた強固な基礎設計を可能としている。

地盤調査結果に基づき地盤バネを仮定する



地震時の耐震版の変形イメージ図



構造計算を実施するためには、材料の強度の把握が大前提となる。SE 構法では柱・梁 1 本 1 本をきちんと強度表示が可能な構造用集成材を使用している。

加えて PEFC-CoC 認証のある部材を利用し、持続可能な森林管理の意識を持って事業及び居住者の安心安全な暮らし実現に取り組んでいる。

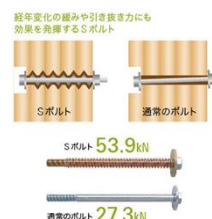
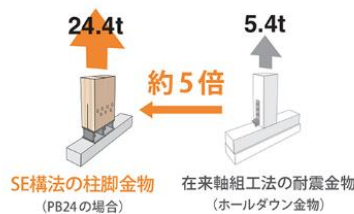


PEFC とは持続可能な森林管理の促進を目指す森林認証制度。CoC 認証は、持続可能に管理されている森林から生産された木材やリサイクル材を原材料として、適切に加工・流通していることの認証。

SE 構法の特徴の一つである木造ラーメン構法を実現したのは、高剛性の SE 専用金物。金物の肉厚 6mm あり、通常在来工法で使用される金物の 2 倍の厚みがあるものを使用する。実験値で 168 年の耐用年数も確認されており、長期間の安全性を担保。

震度 6 や 7 クラスの地震が発生すると、建物の柱に非常に大きな「引抜き力」が加わる。SE 構法においては、専用の柱脚金物を使用、高強度なアンカーボルトと相まって一般在来工法の約 5 倍の強度を確保。

また、柱と梁を剛接合する木造ラーメン構法では絶対に緩まない金物接合が必要となる。SE 構法ではこの課題を克服するために「S ボルト」という特殊なボルトを全棟標準で採用。



SE 構法は、繰り返しの地震にも耐えられるよう様々な実験を実施しており、構造用合板は「JAS 特類 1 級構造用合板」（JAS 性能分類では最上位）を使用し、通常より太い CN 釘（JIS 認定）と合わせて、耐力壁は一般在来工法の 3.5 倍の強度を持っている。

加えて、構造計算で期待される耐震性を確保するため、柱と梁、壁の強度と同様に、床面の強度も重要視し、専用の 28mm 厚の構造合板を使用。通常より太い CN 釘（CN75）で直接梁に固定することで、高い床剛性を確保。

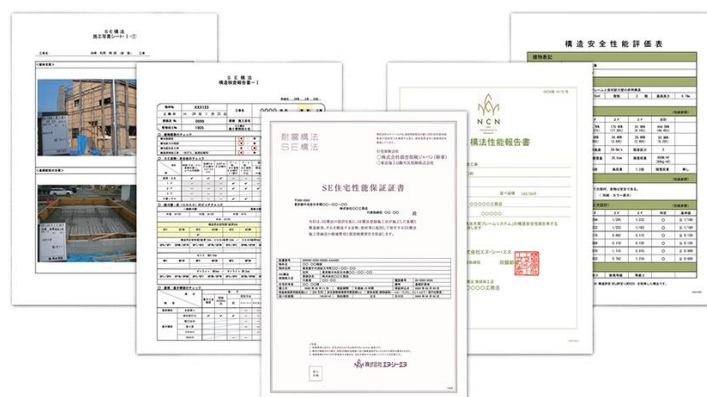


SE 構法は、その独自のノウハウを持ったクローズド構法（当社の独自技術で造られている構法）。専用プレカット工場で、ミリ単位の厳しい品質基準が保たれている。構造部材の品質管理の証として「出荷証明書」も発行。



SE 構法は安全性を担保した構造躯体に対して「SE 住宅性能保証書」を全棟発行し、引き渡しから 10 年、さらに最長 20 年までの構造性能を保証している。

保証は、水平部材に 1/120 以上の傾斜、床・梁などの通常荷重下での 1/500 以上のたわみ、柱・壁の鉛直部材の 1/120 以上の傾斜、という厳しい基準と、基礎・構造躯体とそれを構成する金物に起因する建物の損傷に対して行っている。



当グループにおいては、この SE 構法の利用により居住者の暮らしの安心安全の実現を実現させている。

(2) 全館冷暖房

当社グループでは、地域では当社のみが提供できるワンランク上の全館暖房システム（以下、パッシブエアコン）の住宅を提供することで、暮らしやすさ過ごしやすいさを追求し、居住者の暮らしやすさを実現させている。

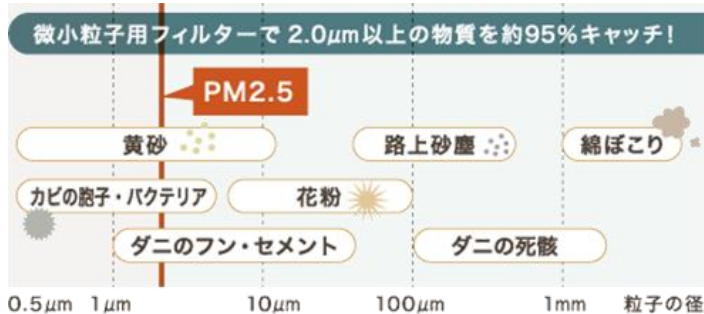
パッシブエアコンの住宅は以下の性能により、高い断熱性と住みよい暮らしを提供。

【換気機能】

花粉などのアレルギー、喘息に悩む方への健康住宅として、24時間熱交換換気+ナノイー空気洗浄により、花粉やPM2.5などの侵入を抑制することで「外よりもきれいな空気」を実現。

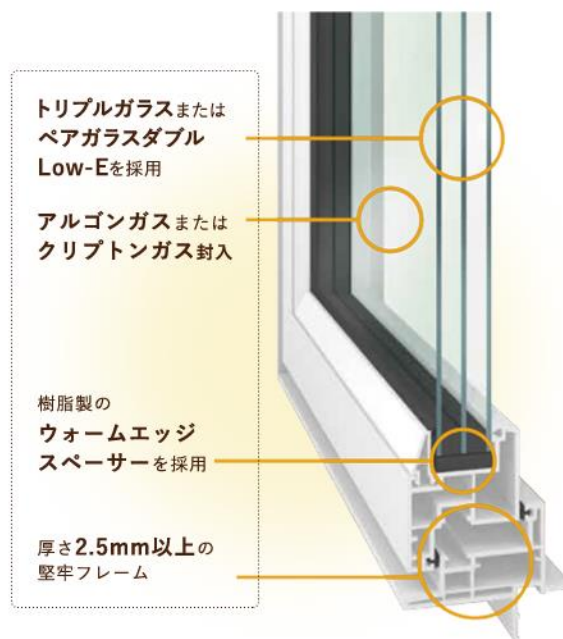
室内吸込側のダクトに設置する「微小粒子フィルター」が花粉やPM2.5などの屋外汚染物質を除去して、外気をきれいに室内に取り込むことで、24時間きれいな空気環境でアレルギーや花粉症に悩むご家族にも安心な環境をつくる。

加えて、2階床下のナノイー空気洗浄機が壁内の空気をさらにきれいにし、空気中の細菌や臭いを抑制させる。



【超断熱樹脂サッシ】

窓からの結露をシャットアウトし、高い断熱性能で室内の快適な温度を保つため、ガラス総厚31mmのトリプルガラスを採用したサッシを利用。



【断熱性と省エネ住宅】

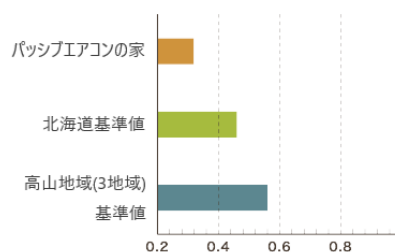
パッシブエアコンの住宅は、世界最高レベルの断熱材の利用と遮熱の5層構造を採用。断熱性能を向上させることで、暖冷房コストを抑制する等、高い省エネルギーを実現させている。

断熱性能が低い家（冬）	一般高気密・高断熱の家（冬）	パッシブエアコンの家（冬）
<p>夏も冬もエアコンなどの効き目が低く、冷暖房器具の前だけ効果があり室内の温度差が大きい。</p> <p>エアコンとFFヒータなどの併用も必要で光熱費も大きな負担となる。</p>	<p>エアコンなどを入れた部屋だけは快適な温度をキープ。冷暖房がない場所との温度差は解消されない。</p> <p>各部屋に必要なエアコンなどの光熱費が負担となる。</p>	<p>すべての部屋、廊下や洗面までも優しい暖かさをキープ。</p> <p>室内温度差も少なく、光熱費も大幅に削減が可能となる。</p>

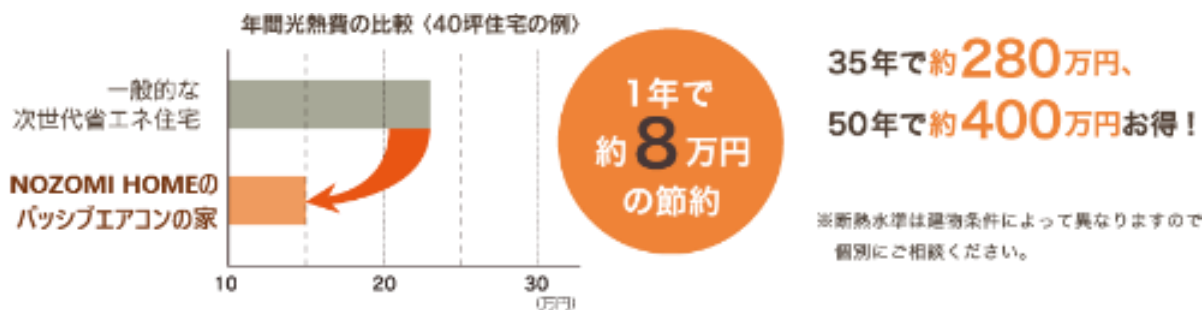
※上記室内温度はあくまで一例

国土交通省が定める、建物内の外皮性能（断熱性能）とエネルギー消費量を指標として算出される建物全体の省エネ基準において、パッシブエアコンの家は、当社グループの地場である高山地域だけではなく、北海道地域の基準も下回る省エネ住宅となっている。

H25 省エネ基準による比較

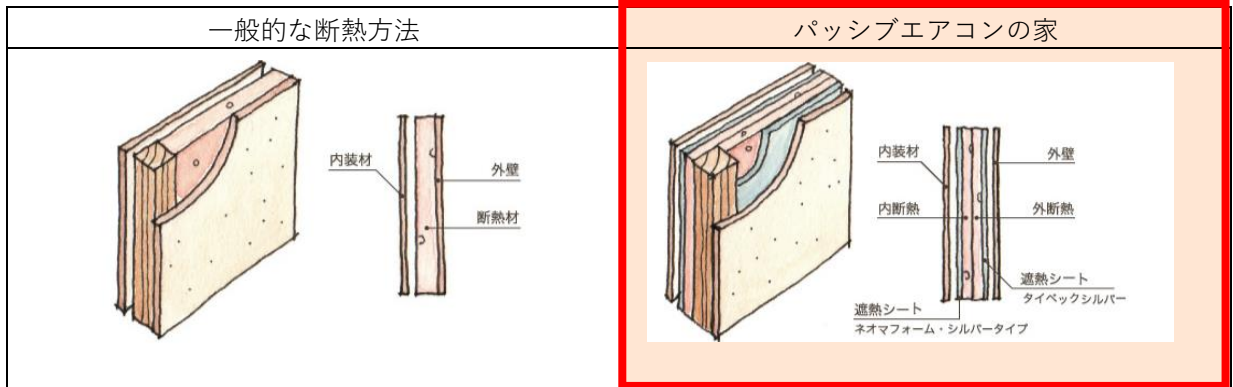


光熱費も一般的な省エネ住宅と比べて、断熱の違いで大きく変わる。



【断熱、遮熱】

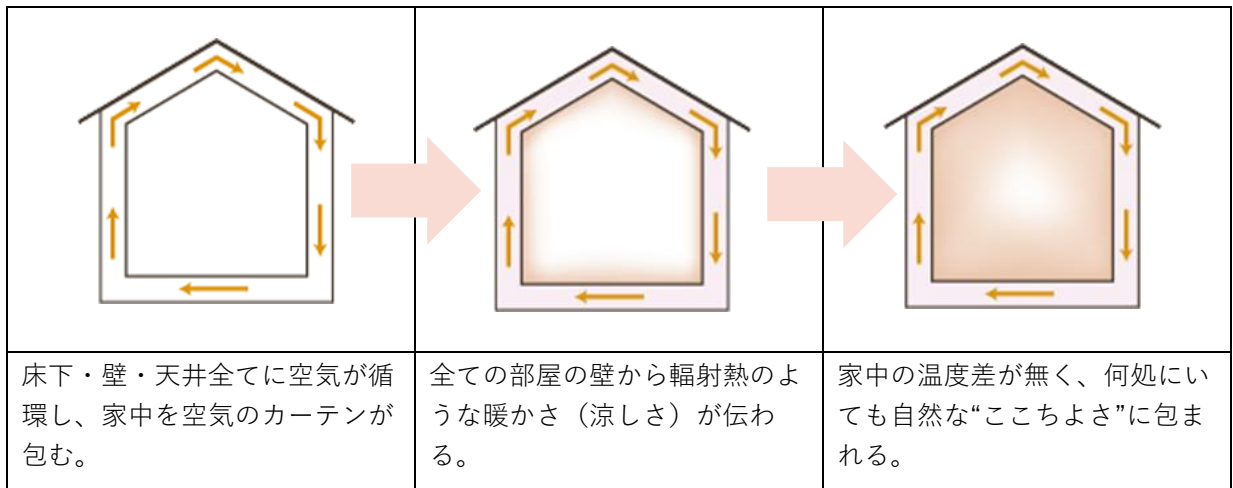
パッシブエアコンの住宅は、外断熱+内断熱、さらに夏は外部からの熱を、冬は暖房の熱をコントロールする2重の遮断シートも採用。構造用面材と合わせて5層構造で、高い機密性能を発揮する。



パッシブエアコンの住宅は、外断熱と内断熱の2重断熱に加え、それぞれに遮断層もある2重遮断の住宅。外からの太陽の厚さを防ぎ、室内の快適な温度を逃がさない高い性能を持つ。

パッシブエアコンの住宅では、全ての部屋の6面体から心地よさが広がるよう、機器に頼らず家中温度差のない環境を実現させる。

<壁内熱の広がりイメージ>



5. 職場環境

健康優良企業

当社グループでは、健康優良企業認定を古川製材㈱で取得し、その理念や活動はグループ全体に浸透させている。

女性の従業員割合が低い業界の中で、当社グループは全体の約6割が女性。パート社員として入社した子育て中の女性が、子供の成長に伴い正社員として登用され活躍していくことも珍しくない。これは、当社グループの働きやすい環境整備に向けた取り組みが要因となっている。

また、年齢や性別に関係なく、重要なポストが任され、自身の力を発揮できる環境構築にも積極的に、離職率低下に向けた取り組みも積極的である。

【健康管理】

当社グループは、産業医が定期的に来社し、普段の健康管理やストレスチェック、健康診断後の相談を行う体制が構築されている。加えて、看護師の常勤体制もある。

【社内託児所】

社内託児所が完備されており、保育士が常勤しているのも特徴的な取組である。託児が出来る環境はスタッフばかりでなく、家づくりの相談に訪れた顧客の安心にも繋がっている。子供に配慮した消毒や清掃などが、清潔で安全な環境が保たれた職場環境の維持にも繋がっている。



【職場内コミュニケーションの充実】

月一回、職場内コミュニケーションのための手当が支給され、ランチや懇親会などが行われている。またコミュニケーション深耕と自己研鑽の手助けのため委員会を設置し交流会を開催。部署の垣根を超えたメンバーが集まり意見交換や等も活発に行われている。

運動会やボーリング大会などのレクリエーション行事は、パート・正社員全員で就業時間中に実施して参加がしやすい運営を行っている。

【リモート・在宅ワーク】

リモートワークの取組に積極的で、遠方スタッフだけではなく、家族が体調不良となった際も自宅からオンラインで仕事ができる環境を整備。

時間休の取得制度や時短労働制度、フレックス制度の導入等多様な働き方ができ、家族と仕事を両立できる環境が整っている。

その他、社内単身者に向けたバランスの取れた食事提供を行うことも検討が行われている。



【職場環境】

高山ショールーム内に新事務所を新設。開放的なスペースの中、至る所にワークスペースがあり、リラックスして自由に仕事に取り組める環境が整備されている。



6. 成長戦略

今後の当社グループ成長戦略

当社グループの今後の成長戦略として以下の3点があげられる。

- ・ 各事業のブランディング戦略
- ・ 飛騨エリアの地盤固めを前提とした他地域でのシェア奪取
- ・ 住宅事業以外の成長

【各事業のブランディング戦略】

当社グループは、顧客の求めるニーズや、地域の暮らしや居住環境改善に向けた取組に合わせたブランディング戦略を推進してきており、今後もその戦略に変更はない。

2022年度には、建売住宅のブランド『TODOQ』を立ち上げ、住宅部門における需要対応幅の拡大を着実に実現しており、今後もマーケットの状況に合わせた対応を進めていく方針。

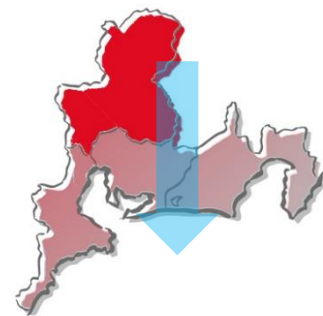


そういった方針を進める上で、そのブランドでより良いサービスを提供していくため、従業員育成やDXの活用等、最高のスキルを発揮できる体制や技術向上に取り組んでいく方針。

【他地域でのシェア奪取】

当社グループは地場である飛騨高山地域で、リーディングカンパニーとしての地位を確立している。確かな技術と地場からの信頼に基づいた結果であり、今後そのノウハウや技術を活かし、その他地域でのシェアも拡大していく方針。

足下では、岐阜県の人口集中地区である岐阜地域がターゲットで、愛知県・三重県・静岡県の東海エリアでの事業展開も拡大していく方針。



※参考 エリア別住宅着工件数における当社グループのポジション (単位：棟)
 飛騨エリア 岐阜県

順位	企業名	2020年度	2021年度	2022年度
1	古川製材	59	63	62
2	A不動産	17	19	17
3	B組	10	13	12
4	Cホームズ	13	9	12
5	D不動産	16	9	11

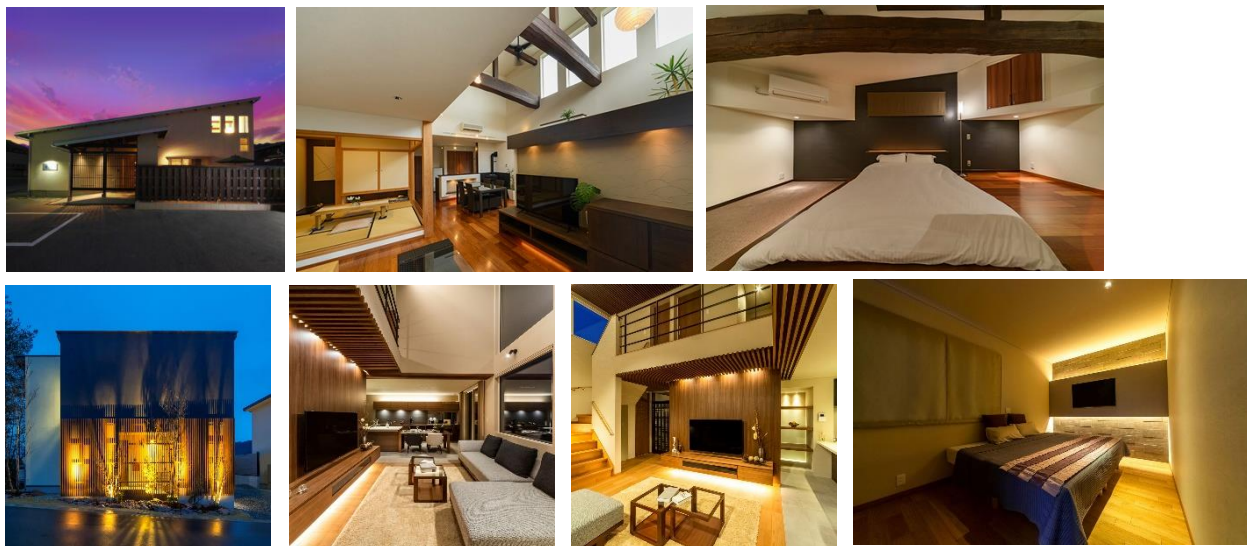
順位	企業名	2022年度
1	Eハウス	126
2	Fビルド	95
3	G木材	78
⋮	⋮	⋮
8	古川製材	62

【住宅事業以外の成長】

当社グループで進める以下の事業について、付加価値を高め、地域の顧客・経済・暮らしに、より良いサービスを提供していく方針。

- ・ 民泊業の加速

国の重要文化財である「古川祭」でその名が広く知られる飛騨古川というブランドを活用した、一日一組の民泊宿「villa-rizo」を当地にて運営。当社グループが暮らし心地をとことん追求し建築した宿で、「飛騨の匠」と呼ばれる工匠を数多く輩出した地元をPRする存在ともなっている。



- ・ 雑貨販売の加速

インテリアコーディネートサービスを取り組む中で、顧客の理想の暮らしを実現するため、住宅雑貨・小物を販売する事業を運営。海外からの輸入雑貨も取り扱うなど、住宅のトータルプロデュースをする上でも重要な事業である。



- ・ 自社ノウハウのコンサル化

当社グループで積み上げた住宅建設に関するノウハウ提供により、失敗しない・後悔しない家づくりを実現するための書籍を発刊。

加えて、各機関が主催する講演に講師として参加し、当社グループの事業活動で培った経営ノウハウや成功体験を同業者に限らず発信することで、ノウハウの伝承活動も積極的に実施。

〔講演活動実績〕

2012年	㈱NAC 主催「受注増大支援セミナー」 in 名古屋、in 土岐、in 四日市、in 大津
2013年	㈱NAC 主催「地域密着住宅会社革命セミナー」 in 仙台、in 名古屋、in 神戸
2014年	㈱NAC 主催「地域 NO1 への道」 in 名古屋、「地域 NO1 経営戦略セミナー」 in 名古屋 飛騨会計事務所主催「地域 NO1 戦略」基調講演



2015年	(株)NAC 主催「エリア NO1 会社視察ツアー-in 高山」講演 (株)ヤマダウッドテクノパートナーズ主催「地域一番店視察ツアー-in 高山」講演
2016年	(有)渡辺酒造店 社員総会「NOZOMI HOME 設立から現在まで」特別講演 (株)LIXIL 経営懇話会「地域一番店視察ツアー-in 高山」基調講演 (株)NAC 主催「エリア NO1 会社視察ツアー-in 高山」基調講演 (株)船井総研主催「定額制住宅研究会」基調講演
2017年	(株)LIXIL 年次総会「地域一番店への道」 in 長野 特別講演、 in 静岡 特別講演 (株)船井総研主催「定額制住宅視察ツアー-高山」基調講演
2018年	(株)LIXIL 年次総会「地域一番店への道」 in 横浜 特別講演、 in 熊本 特別講演 弊社主催「照明設計スキルの重要性とテクニック」 in 高山 講師
2019年	(株)LIXIL 年次総会「地域一番店への道」 in 甲府 特別講演 (株)NAC 主催「エリア NO1 会社視察ツアー-高山」講演 (株)Passive Design Come Home 創立記念イベント パネリスト リフォーム産業新聞社主催セミナー 「地域一番店の今後の戦略」 in 東京ビッグサイト 講演 (株)船井総研主催セミナー「増改築リノベ専門店」 in 大阪 特別講演 LIXIL リフォームショップ東海エリアオーナー会 パネリスト HyAS & Co. Inc.主催 「ハウスインハウス」全国大会 特別講演 (株)船井総研主催セミナー「増改築リノベ専門店」 in 東京 特別講演 LIXIL リフォームショップ北関東エリアオーナー会 基調講演 (株)ヤマダウッドテクノパートナーズ主催「地域一番店視察ツアー-in 高山」講演 (株)船井総研主催セミナー「増改築リノベ専門店」 in 東京 特別講演 LIXIL リフォームショップ千葉エリアオーナー会 「視察ツアー-in 高山」講演
2020年	七学工務店経営者会 「地域 NO1 住宅会社のつくり方」講演 弊社主催「照明設計スキルの重要性とテクニック」 リモート全国講演 (株)船井総研主催セミナー「増改築リノベ専門店」 in 東京 特別講演、 in 大阪 特別講演 (株)船井総研主催セミナー「超ローコスト住宅専門店」 in 東京 特別講演
2021年	(株)SUMUS 主催セミナー「地域密着ブランドのつくり方とは」 特別講演 (株)船井総研主催「定額制住宅研究会」リモート視察ツアー 基調講演 (株)船井総研主催セミナー「増改築リノベ専門店」リモート視察ツアー 特別講演 弊社主催「照明設計スキルの重要性とテクニック」 リモート全国講演 (株)船井総研主催セミナー「狭商圏地域の業態付加戦略」特別講演
2022年	(株)MX エンジニアリング主催 住宅を高く、オシャレに見せる照明計画の極意 入門編 (株)MX エンジニアリング主催 住宅を高く、オシャレに見せる照明計画の極意 実践編 リフォーム産業新聞社主催セミナー 「地域一番店の今後の戦略」 in 東京ビッグサイト 講演
2023年	リフォーム産業新聞社主催セミナー 「地域一番店の今後の戦略」 in 東京ビッグサイト 講演 (株)MX エンジニアリング主催 住宅を高く、オシャレに見せる照明計画の極意 入門編 (株)MX エンジニアリング主催 住宅を高く、オシャレに見せる照明計画の極意 実践編 書籍出版記念講演 In 東京 七学勉強会 (株)船井総研主催「定額制デザイン住宅研究会」基調講演 in 東京

- 地域の“暮らし”や“過ごし方”に着目した新規事業の展開
「人を楽しませる」「家族・人をつなげる」をキーワードに、地域にエンターテインメントを提供できる企業を目指す。
2023年に(株)絆を設立。取組初年度として、地域住民向け健康事業としてセミパーソナルジムを立ち上げ。今後は、地域住民・観光客の需要創造を進め、エンターテインメント領域進出による、地域でのコングロマリットを目指す。

7. SDGs の取組

当社グループでの SDGs の取組

当社グループでは、SDGs の目標達成と持続可能な社会の実現に向けて、事業を通じ社会課題の解決に取り組んでいる。

社内組織として「SDGs 推進委員会」を設置し SDGs 活動を運営管理している。「SDGs 推進委員会」を中心として、従業員が一丸となって様々な取組を進めている。

【当社グループが取組を進める SDGs のゴール】



【取組事例】

(ア) オフィス緑化

社員一人がデスクで一つの植物を育てるというプロジェクト。

ストレス軽減・資格疲労の軽減・コミュニケーションの活性化・生産性や能率性の向上を目的として、健康で働きやすい職場づくりに取り組んでいる。



(イ) 地域清掃

定期的な事務所周辺の地域清掃を実施。観光地として有名な飛騨高山地域の美化に向けて、当社グループ全社員で取り組んでいる。



(ウ) 採用活動

「建築」「土木」という男性が主役というイメージがある中で、当社グループにおいては男女均等を選考ルールとして、採用活動に取り組んでいる。



8. インパクトの特定

(1) インパクトレーダーによるマッピング

当社グループのバリューチェーン分析の結果をもとに、主要・関連業務を特定し、UNEP FIが推奨するインパクトマッピングを実施し、ポジティブ・インパクト及びネガティブ・インパクトの分布を調査。

当社グループの主要事業は、国際産業標準分類に則り、「建築工事業(4100)」「建築・エンジニアリング業及び関連技術コンサルタント業(7110)」を適用。川上事業として「建築用木材及び建具製造業(1622)」を適用とした。

分布図中の「◆◆」は重要な影響があるカテゴリー、「◆」は影響があるカテゴリーを示しており、当社の事業活動における「◆◆」「◆」の影響を検討する。

国際産業標準分類		川上の事業		当社の事業			
		1622		4100		7110	
		建築用木材及び建具製造業		建築工事業		建築・エンジニアリング業 及び関連技術コンサルタント業	
インパクトカテゴリー		Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
社会	水(入手)						
	食糧						
	住居	◆		◆◆		◆◆	
	健康・衛生			◆	◆	◆	
	教育						
	雇用	◆	◆	◆	◆	◆◆	◆
	エネルギー			◆	◆		
	移動手段						
	情報						
	文化・伝統				◆		
	人格と人の安全保障				◆		
	正義・公正						
	強固な制度・平和・安定						
環境	水(質)		◆		◆		
	大気		◆		◆		
	土壌				◆		
	生物多様性と生態系サービス				◆		
	資源効率・安全性		◆		◆	◆	
	気候		◆		◆◆		
	廃棄物		◆		◆◆		◆
経済	包括的で健全な経済	◆		◆			
	経済収束			◆			

■ 新築注文住宅事業・住宅リフォーム事業

インパクトマッピングにおいて、当社グループの事業に影響が大きいと考えられるインパクトカテゴリーは、ポジティブで「住居」「雇用」、ネガティブで「気候」「廃棄物」が挙げられた。

一定の影響があると考えられるインパクトカテゴリーでは、ポジティブで「健康・衛生」「エネルギー」「資源効率・安全性」「包括的で健全な経済」、ネガティブで「健康・衛生」「雇用」「エネルギー」「文化・伝統」「人格と人の安全保障」「資源効率・安全性」が挙げられた。「経済収束」「水（質）」「大気」「土壌」「生物多様性と生態系サービス」は、当社事業との関連性が希薄のため分析対象外とする。

当社グループは、岐阜県の飛騨高山地域を中心に新築注文住宅事業・住宅リフォーム事業、その他付帯サービス事業を展開。顧客の安心安全な暮らしを創出するとの理念を持ち、事業展開を行っている。独自技術である「高い安産性を担保する SE 構法」や「快適な暮らしと省エネを実現する全館冷暖房」による他社との差別化、第三者も含めた複数回の施工検査機会創出による徹底した品質管理、顧客ニーズに合わせたブランディング戦略により、地域 No1 のハウスメーカーとしての住民及び地域の暮らしを支えている。加えて当社グループは、飛騨高山地域で創業以来 100 年間、1,600 棟を超える新築・リフォーム実績とノウハウを有しており、地域産業を支える土台となっている。積み上げた実績やノウハウにより、地場産材を取り扱う業者や地域の伝統建築を守る技術を持った地域事業者からの信頼も厚く、地域の持続可能なサプライチェーン構築に貢献しており、「住居」「健康・衛生」「エネルギー」「資源効率・安全性」「包括的で健全な経済」の面でポジティブ・インパクトを創出・拡大させている。

当社グループは成長戦略を進める中で、飛騨高山地域での基盤を確保しながら事業展開のエリア拡大及びシェア拡大に取り組んでいく方針。新規進出エリアでも、安心安全な住宅・暮らしの提供実績を積み上げながら、更なるポジティブ・インパクトの拡大を実現できる十分な体制と技術が整っている。

飛騨高山地域の伝統・文化・環境に配慮した事業活動の取り組みも特徴があり、観光地としての景観保護だけでなく、飛騨産材檜柱等の地場伝統材料・伝統建築技術の承継を考慮した活動や伝統建築技術を活用した民泊施設の運営も行っている。マッピング上では発現していないが「文化・伝統」のポジティブ・インパクトを創出している。

当社グループの事業においては、雇用面について安定雇用による生計へのポジティブな影響がある一方で、労働者の健康面等のネガティブな影響がある。しかしながら、当社グループでは職場環境整備に関する取り組みに積極的で、従業員の働きやすい職場環境づくりや従業員の健康管理含めた衛生管理が非常に高いレベルで行われている。社内託児所の設置や、リモートワーク環境の整備、開放的なワークスペースの確保等、先進的な取組も行われている。

加えて、従業員への経営方針伝達や社員教育機会創出にも注力しており、顧客サービスの質向上に向けた取り組みも充実。業界や仕事に関する研修だけではなく、“主体性”“向上心”“協調性”等の、社会人として求められる能力を磨くことを「人間力開発」と定義し、「人間力開発」をテーマとした研修機会創出に取り組んでいる。加えて、社内に SDGs の目標達成に向けた「SDGs 推進委員会」を設置するなど、職場環境改善や社会貢献を積極的に実施することで、地域から信頼される体制構築を実践していることも、従業員の働きがい向上と安定的な顧客基盤の構築に繋がっている。

また、建築現場管理について、工事担当者以外の従業員が現場の安全性や現場の環境管理・安全パトロールを定期的を実施し、複数の目線で現場管理を行う体制が構築されており、「雇用」「**人格と人の安全保障**」の面でのネガティブ・インパクトの抑制が行われている。

環境面での取り組みにおいては、住宅の主力部材である木材について PEFC-CoC 認証のある、持続可能に管理されている森林から生産された木材の利用や、間伐材の利用など森林整備を意識した取り組みを行っている。加えて、「SDGs 推進委員会」を活用した活動により、従業員への環境教育を実施し、組織全体の環境保全意識を高めることで、環境マネジメント体制を構築し、環境面でのネガティブ・インパクトの抑制が図られている。

廃棄物・廃材リサイクルの活動にも積極的で、現場で発生する廃棄物・廃材の分別徹底により、混合廃棄を削減することで、処理に伴う GHG 排出量の低減や処理コストの削減を進めている。現場毎に廃棄物・廃材処理に関する表彰制度を設けており、従業員意識の向上も目指した取り組みを行うなど「**資源効率・安全性**」「**気候**」「**廃棄物**」面でのネガティブ・インパクトの抑制が図られている。当社グループが定期的に企画・開催している取引先・地域住民向けマルシェにおいて、住宅建築現場で発生した廃材を、DIY の材料や燃料としての利用を希望される住民の方に無償で提供する企画も予定しており、地域を巻き込んだリサイクル活動も検討を進めている。

(2) インパクトカテゴリーに対するSDGsゴール

当社グループの売上高の大半は日本における事業であり、日本のSDGsダッシュボードから同社のインパクトとの関係性について確認する。今回特定したインパクトと関連の高いSDGsのゴールは下記となる。



(3) 日本におけるインパクトニーズの確認

持続可能な開発ソリューションネットワーク (SDSN) に掲載されている日本のダッシュボードによると、大きな課題が残る項目が「赤色」、重要な課題が残る項目が「橙色」、課題が残るのが「黄色」、目標達成が「緑色」となる。

今回特定したインパクトと対応するSDGsのゴール8項目のうち、3項目が大きな課題が残る項目、2項目が重要な課題が残る項目、2項目が課題が残る項目、1項目が目標達成した項目である。日本に課題が残る項目が7項目中7項目該当していることから、日本における同社のインパクトは重要度が高いと判断する。



(4) 岐阜県のSDGs 未来都市計画の確認

岐阜県は、森林面積が86.2万ha（全国5位）で、県土面積の81%（全国2位）を占めており全国でも有数の森林県である。その他にも、水力エネルギー量全国1位（13,651GWh）や水のきれいさが全国5位となるなど自然に恵まれた県である。豊かな森林に育まれた豊富な水は「清流」として県内をあまねく流れ、飛騨の木工芸、美濃和紙、関の刃物、東美濃の陶磁器など匠の技や、1,300年の歴史を誇る鵜飼などの伝統文化などの地域資源も多数生み出している。

一方岐阜県の人口は、2000年をピークとして、2018年より今後10年間毎年1万6千人減少が見込まれており、特に20~30代の若者を中心に毎年2,000人程度が他県へ流出している。岐阜県は、人口減少や少子高齢化、温暖化や激甚化する自然災害が進行する中、このような地勢を背景として、本県は自然との共生や自然エネルギーの利用を通して日本全国そして世界の都市が抱える地域課題をトータルで内包し、解決・普及するための地方都市モデルとして、大きな役割を担っている。

そんな中、岐阜県は2030年のあるべき姿として「自然と人が創り出す 世界に誇る『清流の国ぎふ』」をテーマとしている。美しい清流と豊かな森などの地域資源を活用し、質の高い業を受け継ぐとともに、ふるさと「『清流の国』ぎふ」への愛着と誇りを醸成し、新たな担い手を育むこととしている。そのために、環境面では「美しい清流とそれを育む豊かな森の保全と活用」、経済面では「世界に誇る『ぎふブランド』の創造と発信」、社会面では「『清流の国ぎふ』の未来を担う人づくり」を目標としている。

■ 当社グループの取組と関連性

「飛騨・高山の街並みを守る技術と材料の継承活動」

当該活動は当社グループが中心となって、歴史的景観を持つ飛騨高山で喪失の危機に瀕している伝統建築を守る技を持つ人と当地独自の材料を一对で日々の暮らしで活用し、後世に繋いでいこうとする活動を進めている。

活動を進める中で、低価格住宅から邸宅の新築、伝統古民家の修繕や復古等多岐に亘る建築に関与し、同一の職人や材料や産業が関わる事で、一定の仕事量と賃金を確保し安定生産出来る体制を確保することも目的としており、岐阜県の未来都市計画との関連性も深い。

【飛騨・高山地域】

当社グループの基盤は、岐阜県北部の飛騨地域（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）。

飛騨地域は、国内有数の観光名所が多くあり、国内外の旅行客が訪れる。加えて、観光業とともに、木工や農業などの産業が盛んで、これらの産業で働きたいと移住してくる方も多く、地域 No1 ハウスメーカーとしての立ち位置にある当社グループは、伝統建築技術の継承や移住者向けの住宅供給も地方創生の重要な役割と認識している。

【活動の背景】

飛騨地域では、着工棟数が減少する中で住宅建設業は昔から一定の着工数を確保。しかしながら、競争は激化し地域の家造りを担う地域工務店のシェア争いは激しい状況。

地場工務店は大手に負けない提案力とローコスト会社に負けない価格が求められ、価格競争への対応のため大手建材会社と連携した大量生産型建材や資材の供給受け、VCやFCからも構造計算や申請業務代行等支援を受ける。結果、多くの業務は海外を含む遠隔地に頼り、地元産業から切り離され、大量生産型の建材資材は当地の気候風土に適さず、技能を活かす作業は減少。合理的に画一化した組立作業となり、地域に根差した伝統建築の新築はおろか、飛騨高山の風景を作りだしている改装や修繕もままならない状況が危惧される。

伝統建築に関する資材や技能者は細々と生きており、この貴重な人材や資源を守り、後世に伝える体制を作り出さねば取り返しがつかなくなると考えた。

【具体的活動】

当社グループが、新築から古民家復古まで広く関わる事で、伝統材料や伝統技術の活躍の場と経済合理性を獲得し次代に継承するため、以下の具体的活動を実施。

- ・ ローコスト住宅から邸宅の新築、古民家改修や伝統建築復古等全ての住宅工事に係る事で、技能職の業務量と伝統技能を発揮する場を確保。
- ・ 地元林業組合や建材会社に伝統材料の需要の場を確保。
- ・ 飛騨産材檜柱を復活し新築や増改築全棟で使用。
- ・ 意匠と構造の一体美であるタイコ梁の活用。
- ・ 当地特有の長い軒を支える芯持ち垂木の復活。
- ・ 差物職人に格子状建材の生産を委託し、左官技術を生かす漆喰仕上を普及。
- ・ 古民家復古に取り組む為「雲」模様が美しい腕木や出桁の復活に取り組みを開始。
- ・ 伝統建築を担う若手大工の育成。



9. KPI の設定

(5) インパクトの特定

- **当社グループの事業活動を通じた地域経済・社会への貢献**
- **環境負荷低減に向けた取り組みの強化**
- **全従業員が生き生きと働ける機会・環境の提供**

(6) 特定したインパクトと富山第一銀行との方向性の確認

当社グループのバリューチェーン分析、インパクトマッピング、日本におけるニーズや岐阜県のSDGs 未来都市計画のニーズや方向性等を踏まえて、同社グループと特に関連性の高いインパクトを整理。特定したインパクトと富山第一銀行のサステナビリティ方針と方向性が同じであることを確認する。

今回特定したインパクトは、「**当社グループの事業活動を通じた地域経済・社会への貢献**」「**環境負荷低減に向けた取り組みの強化**」「**全従業員が生き生きと働ける機会・環境の提供**」である。



富山第一銀行では、サステナビリティ方針のなかで、「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」「4.健全な企業経営」の4点を、サステナビリティを巡るマテリアリティ（重点課題）としている。

「**当社グループの事業活動を通じた地域経済・社会への貢献**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「4.健全な企業経営」という観点で、「**環境負荷低減に向けた取り組みの強化**」では「1.地域経済の持続的な成長」「2.地域社会の持続的な発展」「3.環境保全」という観点で、「**全従業員が生き生きと働ける機会・環境の提供**」では「4.健全な企業経営」の観点で方向性が一致する。

以上より、本ポジティブ・インパクト・ファイナンスに取り組むことで、環境問題や地域社会・経済を取り巻く課題に対して持続可能な社会の実現に貢献し得る資金の提供が可能となり、本ファイナンスを通じてSDGs 達成に向けた取り組みの支援を目指す。

● 当社グループの事業活動を通じた地域経済・社会への貢献

居住者の安心安全な暮らしを担保でき、機能性・デザイン性の優れた住宅関連サービスの提供により、経済・社会面での貢献をしていく。

項目	内容
インパクトの種類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大 ・ 経済面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「住居」「健康・衛生」「包括的で健全な経済」
関連する SDGs	  
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岐阜市を中心とする岐阜エリアでの施工実績積み上げ ・ 愛知県、三重県、静岡県（東海エリア）での施工実績積み上げ ・ 独自の技術として、柱や梁を接合して耐震性を高める「SE 構法」や断熱性能の高い「全館冷暖房」の推進
KPI	<p>岐阜エリアにおける、2024～2028 年度の 5 年間で「SE 構法」「全館冷暖房」導入住宅着工累計件数を 100 棟とする。 （年間平均 20 棟：2022 年度岐阜県全域における着工件数実績 10 棟）</p>

● 環境負荷軽減に向けた取り組みの強化

当社グループ全体で、GHG（温室効果ガス）排出量の削減、廃棄物の減少、省エネルギー対策の推進を図り、環境負荷軽減の徹底に努めていく。

項目	内容
インパクトの種類	・ 環境面におけるネガティブ・インパクトの抑制
インパクトカテゴリー	「気候」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ GHG 排出量の削減 ・ グループ内での省エネルギー対策の推進
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2026 年までに GHG 排出量の「見える化」体制の構築を構築し SBT 認定水準の GHG 削減目標を設定・開示する ・ 2026 年以降は設定した目標に基づき排出削減に取り組む

● 全従業員が生き生きと働ける機会・環境の提供

当社グループ全従業員が働きがいや働きやすさを感じることができるよう、ワークライフバランスの充実や健康保持・増進に資する取組みをより一層強化していく。

併せて、従業員のスキルアップに繋がる研修機会創出にも注力し、社内コミュニケーションの充実と組織力強化も図り、従業員のモチベーションアップに繋げる。

項目	内容
インパクトの種類	・ 社会面におけるポジティブ・インパクトの拡大
インパクトカテゴリー	「雇用」
関連する SDGs	
対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 健康診断やストレスチェック制度の継続と従業員健康管理制度の充実 ・ 社内研修機会の充実 ・ 業務改善・職場環境改善に向け、SDGs 推進委員会を中心とした活動を継続する
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ従業員（パートを含む）の年一回以上の健康診断受診率 100%（2023 年度実績 100%） ・ 従業員の社会人としてのスキルアップを目的に向け「人間力開発」をテーマとした社内研修を年 12 回行う。（2023 年度実績：10 回）

10. 管理体制とモニタリング

(1) インパクトの管理体制

当社は、代表取締役の倉坪茂親様を中心にサステナビリティに関する方針・施策の決定や、重要課題（マテリアリティ）の検討、推進、進捗状況のレビューなどを行っている。

本件におけるインパクトについては、取締役の倉坪美紀様と同じく取締役の水本善暢様が中心となり、管理・KPI 達成に向けた施策を実施する。

最高責任者	代表取締役 CEO 倉坪 茂親
管理責任者	取締役 倉坪 美紀
管理担当者	取締役 水本 善暢

(2) モニタリング方法

本ポジティブ・インパクト・ファイナンスで設定した KPI の達成及び進捗状況については、富山第一銀行と当社とで定期的に面談の場を設け、共有する。本面談は少なくとも年 1 回実施するほか、日頃の情報交換や営業活動の場等を通じて実施する。

富山第一銀行からは、KPI 達成に必要な資金およびその他ノウハウの提供あるいは富山第一銀行の持つネットワークから外部資源とマッチングすることで、KPI 達成をサポートする。

モニタリング期間中に達成した KPI に関しては、達成後もその水準を維持していることを確認する。なお、経営環境の変化などにより、KPI を変更する必要がある場合は、富山第一銀行と当社が協議の上再設定を検討する。

注意事項・免責事項

1. 本評価書は、富山第一銀行が株式会社望みグループホールディングスから提供された情報や独自に収集した情報に基づく現時点での計画又は状況に対する評価で、将来におけるポジティブな成果を保証するものではありません。
2. 富山第一銀行は、本評価書を利用したことにより発生するいかなる費用または損害について、一切責任を負いません。

● 本件に関するお問い合わせ先

株式会社富山第一銀行

法人事業部 コンサルティングチーム

〒930-8630

富山市西町5番1号（TOYAMA キラリ 7F）

TEL (076) 461-3871